貸借対照表

2020年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【流動資産】	290,882	【流動負債】	182,833
現金及び預金	127,125	支払手形	18,866
受取手形	12,850	買掛金	92,970
売掛金	87,200	短期借入金	20,000
棚卸商品	62,099	未払金	17,552
前払費用	1,142	未払消費税等	7,083
仮払金	96	預り金	394
立替金	618	仮受金	6,852
未収入金	8	未払法人税等	2,310
貸倒引当金	△260	賞与引当金	16,804
		【固定負債】	113,622
【固定資産】	43,408	長期借入金	60,000
(有形固定資産)	28,306	退職給付引当金	40,902
建物	10,618	役員退職慰労引当金	12,720
工具器具備品	740		
一括償却資産	73	負債合計	296,455
土地	14,088	純資産の部	
建物附属設備	2,582		千円
構築物	203	【株主資本】	37,834
(無形固定資産)	1,931	資本金	10,000
電話加入権	1,003	(利益剰余金)	27,834
ソフトウェア勘定	927	利益準備金	2,500
(投資その他の資産)	13,170	その他利益剰余金	25,334
保証金	5,722	繰越利益剰余金	25,334
繰延税金資産	7,447	(当期純損益)	(△21,369)
		純資産合計	37,834
資産合計	334,290	負債・純資産合計	334,290

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

ヤマサリビング株式会社

2019年4月1日から

2020年3月31日まで

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価は最終仕入原価法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は、定率法によっている。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。

無形固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金は、期末現在に有する金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、回収不能のおそれがある金銭債権について、回収不能見込額を計上している

②賞与引当金は、従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

③退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。

④役員退職慰労引当金は、役員に対して支給する退職慰労金の支出に備えるため、当期末における支給見込額を計上している。

(4) その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 31,377千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因

退職給付引当金、賞与引当金、役員退職慰労引当金

4. 1株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	3,152 円 88 銭
1 株当たり当期純損失	1,780 円 81 銭

5. その他の注記

記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。